

遮熱性透水ブロック

ILB® 遮熱性ILB

■ 太陽光を反射して、路面温度を最大約15℃以上も低減します。

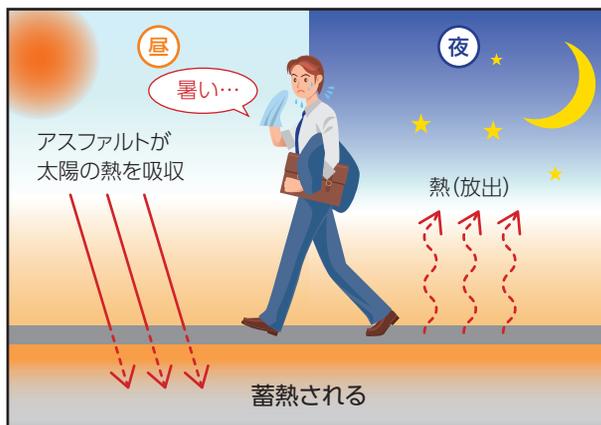
遮熱性舗装とは

遮熱性舗装とは、路面の蓄熱*が抑えられ、舗装からの放射熱が軽減する仕組みのことをいい、ヒートアイランド対策として非常に有効です。遮熱性ILBは、太陽から届く光で暑いと感じる赤外線を反射し、舗装の表面温度を最大約15℃も低下させます。

*蓄熱 暑い日の夜、道路のアスファルトを触ると夜なのにまだ暖かいことがあります、このような現象のことです。



通常のアスファルト舗装



■ 昼間地表に降り注ぐ太陽光は、熱エネルギーとしてアスファルト舗装に吸収されます(蓄熱)。

■ 昼に暖められ、蓄熱された熱エネルギーは、夜になっても熱いままで放出され、気温を上昇させます。

遮熱性ILB



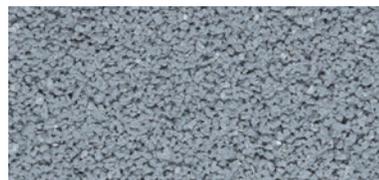
■ 舗装を暖める太陽光を反射し、表面温度を低減します。

■ 舗装表面温度が低くなっているため、放射熱は軽減されます。

カラーバリエーション



ライトグレー



グレー



ダークグレー

製品概要

インフォメーション

NETIS登録製品

水路

雨水貯留

擁壁

補強土工

テクスパン工法

電線類地中化製品

道路

ます

景観

耐震性貯水槽

スポーツウォール

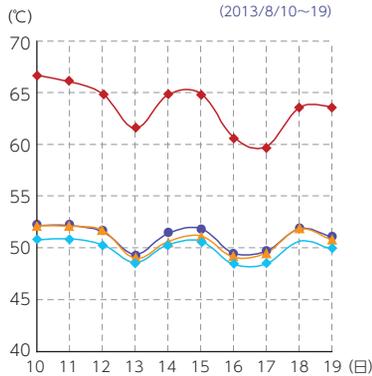
その他製品

会社案内

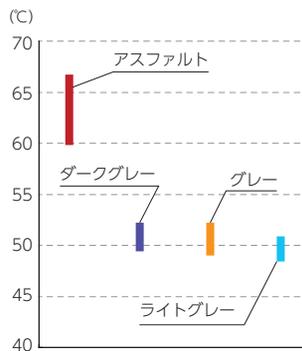
色相による温度低減効果

夏の最も暑い日を含む9日間、密粒度アスファルトと遮熱性ILBの温度を測りました。ここでもアスファルトに比べ、遮熱性ILBは、最大約15℃以上低くなるのが解りました。温度低減効果は、色相によっても変わります。より効果を高めるには、明度の高い色をお選びください。

測定日ごとの最高表面温度



色相別の最高温度分布



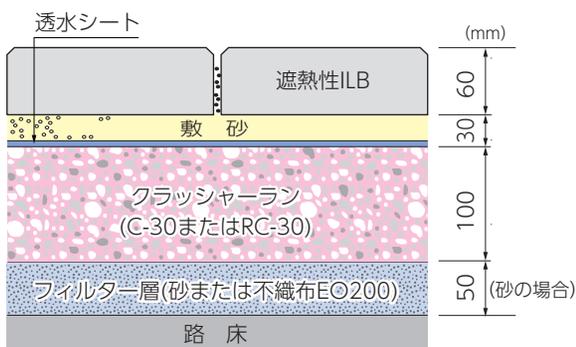
● アスファルト ● ダークグレー ● グレー ● ライトグレー



舗装構造

遮熱性ILBは、透水性能を有する遮熱性ブロックです。主な用途は、歩行者、自転車、車椅子などが通行する歩道、公園、広場や最大積載量39kN以下の管理用車両などが通行する建築物アプローチなどに使用できます。

歩行者、自転車、車椅子の通行

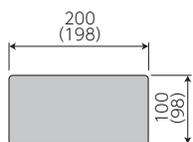


最大積載量39kN以下の管理用車両などの通行

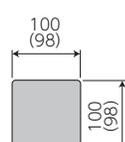


寸法

NN



SN



厚さ:60/80 単位:mm ※ ()は実寸法